



# 口呼吸に対する 矯正学的アプローチ

～こども達の健やかな成長のための知識～

子供たちの多くに“口呼吸”が認められます。そして、これらの児童の多くに、“アデノイド”や咽頭周囲のリンパ組織の腫脹が認められ、それに伴う“気道の狭窄”が生じています。そして“口呼吸”が容易に行えるように“舌位”や“下顎位”が変化し、結果としてさまざまな咬合異常が生じていると、私は考えております。また“口呼吸”は全身的にも影響をおよぼし、健やかな成長や精神発達を障害することから、早期に治療を行う必要があるとも考えています。ですから、まず原因である“口呼吸”を改善した後、残存する咬合異常の治療を行うことが最良かつ効率的な治療であると考え、実践しています。

“口呼吸”の治療のための装置としては、私は“スケルトンタイプの拡大装置”を用いています。この装置を用いることで、鼻上顎複合体を骨格的に側方方向へ拡大し、結果的に鼻気道が拡大され、呼吸の抵抗を減らして口呼吸の改善をはかることができます。また最近ではスケルトンタイプの拡大装置を、マイクロインプラントを固定源として使用することで、子供だけでなく成人に対しても非外科的に上顎骨に対して骨格的な拡大ができることが知られてきました。この装置は睡眠時無呼吸症に対しても効果があると考えて使用しており、併せて紹介したいと考えています。

今回、口呼吸の弊害についてお話をするとともに、スケルトンタイプの拡大装置の治療前後の変化について呈示します。そして先生方に本装置を用いて上顎の拡大を行った後の矯正歯科治療のすすめ方についてお話しし、“口呼吸”を改善する1つの手段として、“矯正歯科治療”を提案したいと考えています。



保田 好隆 先生

- 1985年 大阪歯科大学卒業
- 1985年 大阪大学歯学部歯科矯正学講座入局
- 1993年 大阪通信病院（現 NTT西日本大阪病院）  
歯科口腔外科
- 1997年 大阪大学 助手 歯学部（歯科矯正学講座）
- 1998年 大阪大学 講師 歯学部附属病院
- 2000年 大阪大学 助教授 歯学部  
（歯科矯正学講座）
- 2002年 文部科学省短期在外研究員として  
アメリカ合州国ノースキャロライナ大学  
チャペルヒル校へ留学
- 2003年 保田矯正歯科勤務
- 2005年 国立大学法人大阪大学 招聘教員
- 2007年 北海道医療大学歯学部 非常勤講師
- 2013年 保田矯正塾 主宰

日時  
会場

2017.1.9 (月・祝)  
10:00-16:00

〒106-0047 東京都港区南麻布 2-14-19 オキノビル 3 F  
アルタデント CAMLOG Training Center TOKYO  
東京メトロ「白金高輪駅」より徒歩 10分

定員  
受講料

36名  
¥18,000 (税込・昼食付) ※当日お支払い頂きますので、キャンセルは  
ご遠慮ください。

問合せ  
申込先

(株) アイデンタルインフォメーション  
TEL : 03-3526-5546 FAX : 03-3526-5556



## 参加申込欄

FAXで申込を受付、返信にて受講票を送付します。キャンセルの際は、必ず事前のご連絡をお願いします。

歯科医院名/ラボ名	ご芳名
御連絡先	☎
	FAX

FAX 送信先

03-3526-5556 株式会社アイデンタルインフォメーション

◆主宰 / GDS スタディ